

さくぎ町民だより



発行 (一社)作木町自治連合会 三次市作木町下作木905-2 文化センターさくぎ
TEL 0824-55-2115 FAX 0824-55-7010
メールアドレス bs.sakugi@pl.pionet.ne.jp

2月号

作木町新年互礼会開催

1月10日(金)令和2年の新年互礼会を作木山村開発センターで開催しました。今年も雪の心配が無く、多くの皆様にご出席いただき、年頭にあたって交流と意見交換の場となりました。互礼会は平成24年から始まり今年で9回目です。作木町の貴重な年頭行事となりました。



郷土料理の保存

自治連では、平成29年度から作木の郷土料理の調査と保存に取り組み、30年度に15品のレシピを作成しました。

そして今年度、三次市食生活改善推進協議会作木支部の皆様や、地域の皆様の協力をいただき12品のレシピを作成しました。

完成したレシピは、作木町観光ガイドマニュアルに追加します。

このレシピ集が作木の郷土料理として活用されることを願います。



防災備品を整備します

作木町自主防災会では、三次市の自主防災活動交付金を活用して防災備品の整備を行います。

備品は、町内3か所(文化センターさくぎ・上地区自治交流センターポテンシャル・下地区自治交流センターめんがめ)の施設に必要な備品を置き、緊急時に対応します。

防災マップを見直しています

今年度、地域の防災マップの見直しを行いました。

見直したマップは、これから印刷をおこない配付する予定です。

マップは、災害時の避難経路や避難場所および連絡先等大切な内容が表示されていますので、わかりやすい場所でも保管されるとともに、内容のご確認をお願いいたします。

そばの収穫体験

年末警戒・出初式

防火豆まき

作木小学校の5・6年生は

作木民生児童委員協議会の指導により、そばの収穫作業を体験しました。

児童の皆さんは種まきから収穫・脱穀・そば打ちまで、そばが出来上がるまでの一連の工程を体験し、食の貴重な学びとなりました。



脱穀作業



刈り取り作業

昨年12月28日から3日間、

三次市消防団の年末警戒が実施されました。作木方面隊においても、夜の巡回や防火の呼びかけを行い、地域の安全に努められました。

また、1月5日(日)には三次市消防団出初式が挙行され、市内の各方面隊の団員が集い、火災のない一年を願いました。

2月3日(月)さくぎ保育

所で未就園児と一緒に節分の行事が行われました。三次消防署作木出張所の職員が赤鬼と青鬼になり、子どもたちは元気いっぱい鬼に豆を投げっていました。

また「火遊びをしないこと」「頑張る子になること」「好き嫌いをしないこと」「優しい子になること」この4つを約束しました。



とんどで交流

北部区

上作木区

2年続きの暖冬、年号も変わり新年を迎え、良い年になる様にと願いました。

12日の天候は良くはありませんでした。寒い中、外では竹でも区民の皆様の大半の方が集まってくれました。

準備から最後の片づけまで人数の少ない中、無事に終わることができました。あらためて地域の皆様に感謝いたします。

この先、人数は減るばかり。今まで以上に一人一人の力が必要となっていくのではないのでしょうか。(松田 二郎)



天気予報を気にしながら恒例のとんど祭りを1月12日に上作木構造改善センターで行いました。寒い中、外では竹を切り出したり、台所ではそれぞれの家庭から野菜、漬物を持参し、豚汁やお汁粉作りです。11時に火入れです。その前後に餅をつきます。時間が近づくとも地区の方々が集まり、正月飾りや古いお守り・神札・習字等を燃やしてその炎で暖まりながら無病息災や豊作を祈りました。豚汁やお汁粉には上作木地区の暖かい心がこもっていて元気で過ごす「勇氣・希望」を頂きました。

例年どおり、和気あいあいとつつがなく行われました。当地区も人口減少の傾向にありますが、この神事は続けていきたいと思えます。(高畑 隆雄)

自治連からのお知らせ

作木の高齢者宣言ポスターを 掲示しています。

作木町の60代70代の皆さんは、豊かな知識と経験を活かし、それぞれの地域でさまざまな役割を果たされています。自治連では、皆さんがこれからも地域の現役世代として活躍され、いきいきと前向きな気持ちで活躍していただきたいとの思いで、昨年10月に宣言いたしました。

宣言は、文化センターさくぎに懸垂幕を設置しています。この内容を広く町民の皆さんにお伝えしていくためにこのポスターを町内のさまざま所に掲示しています。

この宣言は、法律や社会保障制度などにおける「高齢者」の定義や対象者、運用などを変更するものではありません。

作木町書道展を 開催しました

1月16日から29日まで、文化センターさくぎで書道展を開催し、作木小・中学校の生徒の書初めや、町民の皆様の作品を多数展示しました。

今回も新年にむけての抱負や思いが表現されたすばらしい作品がそろいました。



集落支援員から

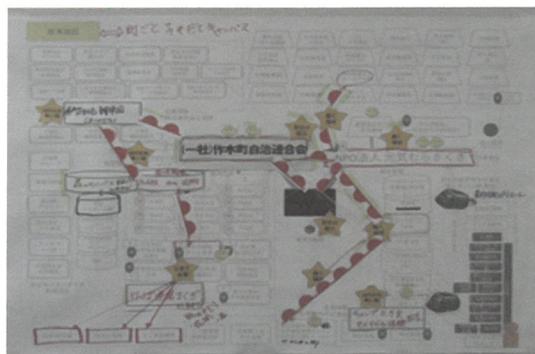
「まちづくり講演会」より

みよしまちづくりセンターで1月25日に開催されました。講師は昨年、作木町の人口について分析調査をされた藤山浩さんと「持続可能な地域づくり」をテーマに地区別人口分析と介護状況・費用分析の報告がありました。

報告では、人口を安定化する方策として、**人口の1%を取り戻す取り組みが重要で、具体的には30代子連れ夫婦1組(3名)に毎年移住してもらう事などが示されました。**

介護状況・費用分析からは、**お達者度を向上させるために、高齢者の「小さな出番、役割」づくり、生涯農業などが提案**されました。

作木町自治連合会では、研修会で検討した事例を「若い世代の方の視線」で見つめてもらい、今後の重点取り組みとして推進を予定されています。



地元天気図

この日は、作木町自治連合会から人口を増やす方策として作成した、**地元天気図**による検討事例が報告されました。

今後「町ごと子育てキャンペーン」を目標にし、作木町が子育てしやすい町となるよう、作木の良さを活かしたまちづくり

地元天気図とは、町内の組織、団体、事業者や施設などを幅広く見て、つながりを表し、その上で地域の良さと弱みを把握して定住促進に向けての方策を考え、実行しようとするものです。

(石井 久敏)

次回の町民だよりは
3月に発行します



作木郷土資料館がオープンします

作木で昔の生活道具や農業の用具等、暮らしに使われていた資料の展示資料館が、下地区自治交流センターめんがめに完成しました。

開館日などくわしい内容は、今月の常会文書のリーフレットをご覧ください。

皆様、是非郷土資料館にご来場ください。

資料館は上地区ポテンシャルの收藏資料と、下地区めんがめのふるさと資料館の展示物及び、中地区と作木支所保管資料の一部を集約して展示し、新たに説明版などを設けてわかりやすい展示となっています。

オープンは2月21日(金)の午後1時からです。



作木町女性会



これからも、皆で交流を大切に活動を進めていききたいです。

グループ紹介 ⑧

女性会の皆さんは約50名で毎年、楽しみと生活に役立つ活動をされています。今年は七宝焼にチャレンジ！。写真のようにすてきな作品が完成しました。活動を通じて皆で楽しく交流を深めています。

作木消防から

「作木町火災ゼロ！！」

今年の目標は決まりましたか？

作木消防は、火災0件を目標に防火防災活動に努めてまいります。この目標は皆様の御協力なしには達成できません。今年も引き続き火の用心をよろしくお願いします。

火災・救急の件数

12月	火災0件	救急10件
1月	火災0件	救急4件

お出かけ前とおやすみ前は火の元の確認をしましょう！

◎火災と救急・救助は119番
三次消防署作木出張所

TEL 55-3109



2020年全国交通安全スローガン

「スマホより横断歩道の僕を見て」